

木製品の出土状況

おおきなムラだった
のよ!



五村遺跡

弥生時代
(2300年前～1800年前)

弥生時代の
中心集落



五村遺跡は長浜市五村にある弥生時代の遺跡です。大きな集落や墓が見つかりました。

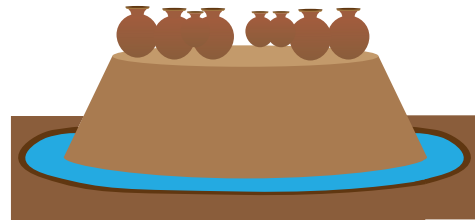
様々な木製品のほか、墓に供えられたと考えられる「供献土器」や、弥生時代の櫛などが出土しました。

特殊な土器・木製品



きょうけんどき
供献土器

左の写真は弥生時代の墓「周溝墓」から出土した土器です。非常に大型で高さ約 85 cm、直径は約 70 cmにもなります。墳丘墓の上に並べられた状態で出土しました。土器の胴体の部分や縁の部分には様々な文様で飾られており、その大きさもあいまって日常的に使われたのではなく、墓に対して供え物をするための「供献土器」だったと考えられています。



しゅうこうぼ きょうけんどき
周溝墓と供献土器

◆ たてぐし 豎櫛

かみ 髪にさして飾った
かざ のよ!



五村遺跡から出土した、「豎櫛」です。現在の髪をとかすための櫛とは違い、髪留めのようにアクセサリとして使われました。

透かし孔や文様が刻まれ、飾られているほか、赤く塗られていた痕跡がかすかに見取れます。

豎櫛の出土は全国的に見ても少ないため、ひろく身につけられていたとは考えられません。まつりなどの大切な日に特別な人だけが髪に飾る事ができた貴重なものだったのかもしれない。



※写真は着色してあります。

掘る・耕す道具



すき
鋤



ふたまた すき
二股の鋤



くわ はさき
鋤の刃先

色んな形がある
のね。

五村遺跡からはたくさんのすき（現在でいうシャベル）やくわが出土しました。先が二つに分かれたものなど様々な形のものがあります。鋤や鋤は、田や畑をたがや耕したり、穴や溝をみぞほ掘るために使われました。



やよいじだい
弥生時代の石器

弥生時代の遺跡からは木を切ったり加工したりするための石斧、矢の先に付ける石鏃のほか、稲の穂を摘み取るための石包丁、武器として使われた石剣などが出土します。

石器は、石を打ち欠いて作った「打製石器」と研いだり、磨いたりして作る「磨製石器」の二つに分けられます。縄文時代にはほとんど打製石器だけが使われ、弥生時代には打製石器と磨製石器の両方が使われました。

弥生時代のはじめごろは石器だけが使われていましたが、金属器が途中から使われ始め、徐々に広まってゆきました。弥生時代の終わりごろには石器の出土はほぼなくなり、ほとんど金属器を使用していたと考えられます。



打製石鏃



磨製石鏃



磨製石斧



石包丁



● 交通アクセス

公共機関：JR 北陸本線「虎姫駅」下車、近江鉄道バス「虎高前」下車
車：国道8号線「酢」交差点を東へ約 1.4 km 「生きがいセンター」付近

● お問い合わせ

ながはましぶんかざいほこ
長浜市文化財保護センター

〒526-0802 滋賀県長浜市東上坂町 981 TEL 0749-64-0395